

赤潮被害に義援金集まる

赤潮被害義援金を分配



↑長元組合長と新蔵長島支所長の両氏
へ義援金が手渡されました。

12月13日、東町漁業協同組合と北さつま漁業協同組合に、赤潮被害救済のために寄附されていた義援金が引き渡されました。

これは、2年連続で深刻な赤潮被害に遭った養殖業者などに対して、各種団体（7団体）などから贈られていたものです。この日は、東町漁業協同組合の長元信男組合長と、北さつま漁業協同組合長島支所の新蔵正人支所長が町長室を訪れ、川添健町長から義援金を受け取りました。

両氏からは「今回赤潮被害のため義援金をいただき大変ありがたいです。赤潮被害関係で有効に使わせていただきます」とお礼がありました。（義援金総額 248万 4207円）

チャリティープロレスで地元に恩返し



↑長島町出身のプロレスラー山上康弘さんとチャリティー大会を開くきっかけになった、赤潮被害のブログを発信した入口奈矢さん

12月22日、長島町三船出身のプロレスラー山上康弘さん（伊佐市）が町長室を訪れ、チャリティープロレスでの募金 5万 1083円を川添健町長に手渡しました。

山上さんは、プロレス団体「チーム ガミロック」の代表であり、11月の長島赤潮被害救済チャリティープロレス出水大会と鹿児島大会を開催した経緯や当日の状況を町長に報告しました。

山上さんは「赤潮被害のブログを発信していた入口奈矢さん（薄井集落）の影響を受けて、ふるさと長島のためこのチャリティー大会を開きました。募金して下さった皆さんの思いを、赤潮被害の何かに役立ててほしいです」と話されました。

これに対して町長は「赤潮被害に負けないよう今後ともこのような大会をふるさとで開催してください」とお礼を述べました。

各店舗で赤潮被害の募金活動



↑吉田社長と古田オーナーから義援金が手渡されました。

12月24日、(株)南九州ファミリーマートの吉田武司代表取締役社長と、ながしま鷹巣店の古田義富オーナーが町長室を訪れました。

これは、(株)南九州ファミリーマートで、過去最悪となった赤潮被害に対して、阿久根市、出水市、薩摩川内市、さつま町のファミリーマート 25店舗の窓口で義援金活動を実施したもので、この日総額 30万 8519円の義援金をいただきました。

古田さんは「南九州ファミリーマートは災害などがあつた際、店舗をあげて社会奉仕しています。今回、赤潮によるブリ被害にあつたかたがたのための復興支援に活用してください」とあいさつしました。